

わたぼうし勉強会

キャリア形成訪問指導事業で、八月三十一日新見公立短期大学の池田明子先生を講師にお招きし「利用者とのコミュニケーションについて」と題し、わたぼうし勉強会を開催しました。

「コミュニケーションはとるものではなく在るものと捉え、出会った瞬間から始まり、情報を伝達し合い相互に理解を深める機能がある。」と話されました。効果的なコミュニケーション技法（傾聴や共感等）を学び、実際、困っている事例をおとして、対応策を考え助言を頂きました。人と交流するには、コミュニケーションは必要不可欠です。相手への思いやりや受け入れる姿勢を持つて接する事の重要性を再認識しました。

(湯楨)



運動会

毎年、秋に行っていた運動会を今年は7月末に開催しました。魚釣りとビン起こしの新種目と定番のパン食い競争・玉いれなど5競技を行いました。「勝負にこだわらず・・・」と言っても皆さん負けると悔しい顔で、勝つと満面の笑みで童心に返ってはしゃいでおられました。楽しく競技できることに感謝し、3時のお茶は戦利品のあんパンをおいしそうに食べておられました。

(池田直)



稲刈り



六月、発泡スチロールの箱に利用者様と田植えをしました。「水が足らんぞ。肥料が足らんぞ」とアドバイスをもらいながら、立派に育ちました。十月に稲刈りをし、昔の道具の『せんば』でこなしを行い、懐かしい時間を過ごしました。

(丸山)

利用者作品



タオルの犬

講師として柳充子さんに来ていただき、タオル一枚で犬を作りました。利用者様は「かわいいのができた。」と言われ、嬉しそうに持って帰られました。

(赤尾)

風鈴

各地で節電を言われる中、暑い夏を少しでも涼しく過ごしていただけのように「世界に一つだけの風鈴」を利用者様に作っていただきました。とてもステキな風鈴ができ、喜ばれていました。

(赤尾)

